

第6学年*組 家庭科学習指導案

指導者 ***

1 題材名 暑い季節を快適に

2 目標

- すずしい住まい方や着方に関心をもち、快適な過ごし方について考えようとしている。
(家庭生活への関心・意欲・態度)
- すずしい住まい方や着方について課題を見付け、自分なりに快適な住まい方や着方について考えたり、工夫したりしている。
(生活を創意工夫する能力)
- 手洗いを中心とした洗濯をすることができる。
(生活の技能)
- すずしい住まい方や着方について理解している。
(家庭生活についての知識・理解)

3 題材設定にあたって

本題材は、小学校学習指導要領解説家庭編「C 快適な衣服と住まい」の（1）衣服の着用と手入れ及び（2）快適な住まい方について扱った題材であり、衣服や住まいに関する基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、生活をよりよいものにしようとする実践的な態度を育てることをねらいとしている。児童は5年生の時に題材「寒い季節を快適に」で、寒い季節を暖かく過ごすための衣服の着用や住まい方を学習している。本題材を指導するにあたり、実態調査を行った。

(平成*年*月*日 6年*組 *人)

1 家庭生活について

- | | | |
|------------------------------|-------|--------|
| ・洗濯機を使って洗濯をしたことはありますか。 | はい *人 | いいえ *人 |
| ・手洗いで洗濯をしたことはありますか。 | はい *人 | いいえ *人 |
| ・洗濯物を干したことはありますか。 | はい *人 | いいえ *人 |
| ・洗濯物を取り込んだり、たたんだりしたことはありますか。 | はい *人 | いいえ *人 |

2 洗濯をするときに気を付けることはどんなことだと思いますか。

- | | |
|--------------------|--------------|
| ・よごれているものと白いものをわける | ・ポケットの中を確認する |
| ・どろ汚れは手洗いしてから洗う | ・分からない |

児童は家庭生活において洗濯物を干したり、たたんだりする手伝いはしたことがあるが、洗濯をした経験があまりないことが分かる。特に、手洗いについては家庭で毎日行われている仕事だが、家族に任せているのが実態である。

そこで、洗濯をした経験の少ない児童に、洗濯の知識や技能を身に付け、家庭生活で実践しようという意欲を高めるため、学習計画表を活用する。学習計画表は児童が見通しをもって学習に臨むとともに、ここでどんな力を付けるのか、学習が終わったときに付いている自分の力を想像しながら学習に取り組めると考える。

ここでは、5年生で学習した「寒い季節を快適に」を振り返り、暑い季節との違いや快適に過ごす工夫について話し合い、衣服の着用や着方に着目させたい。そして、暑い季節には汗や汚れが付きやすく着心地が悪くなることを確認し、衣服を気持ちよく着るための手入れの必要性を理解させたい。そのために、見たことや聞いたこと、知っていること、体験したこと、感じたことなどをまとめるときに、絵やことばを使ってまとめる言語活動を取り入れ、知識や技能を実感をもってとらえられるようにしたい。また、家庭での洗濯について家族にインタビューしたり、洗濯する物や方法などの課題をいくつかのグループに分けて課題解決のための体験活動を取り入れたりして、自ら解決する方法を見いだし、家庭生活をよりよくするための実践へつなげていきたい。

4 評価規準

	家庭生活への 関心・意欲・態度	生活を 創意工夫する能力	生活の技能	家庭生活についての 知識・理解
すずしい住まい方をくふうしよう	すずしい住まい方や着方に関心をもち、快適な過ごし方について考えようとしている。	すずしい住まい方について課題を見付け、自分なりに快適な住まい方について考えたり、工夫したりしている。		暑さ・寒さへの対処、通風・換気・採光などの工夫について理解している。
すずしい着方をくふうしよう	衣服の働きや着方、手入れなどに関心をもち、気温や季節の変化、	すずしい着方について考えたり、工夫したりしている。		衣服の働きや季節の変化に合わせた着方にについて理解している。

	生活場面に応じた着方をしようとしている。		
洗たくをしてみよう	日常着の手入れに関心をもち、衣服を大切に扱い、気持ちよく着るために手入れをしようとしている。	日常着を点検し、気持ちよく着るための手入れについて考えたり、工夫したりしている。	手洗いを中心とした洗濯ができる。 衣服を気持ちよく着るために手入れが必要であることが分かり、手洗いを中心とした洗濯の仕方について理解している。

5 指導と評価の計画（8時間取り扱い）

時	学習内容	評価の観点				評価規準と評価方法
		関	創	技	知	
1	すずしい住まい方や着方についての課題を見付け、話し合う。	◎		○		すずしい住まい方や着方の課題について考えようとしている。 (観察・発表)
2	すずしい住まい方について考える。		○	◎		すずしい住まい方について考え、快適な過ごし方について理解している。 (観察・ワークシート)
3	すずしい住まい方の実践計画を立てる。	◎		○		すずしい住まい方について、家庭や自分にできることを考えている。 (ワークシート)
4	すずしい着方について考える。	◎		○		すずしい着方について考えたり、工夫したりしている。 (発表・ワークシート)
5	衣服を気持ちよく着るための手入れについて考える。	○		◎		日常着の手入れの方法や洗濯する必要性について理解している。 (発表・ワークシート)
6	洗濯の仕方について調べ、洗濯の実習計画を立てる。	◎		○		洗濯の方法や手順を理解し、実習計画を工夫して立てている。 (発表・ワークシート)
7・8 本時	目的に合わせて、グループで手洗いによる洗濯をする。	○	◎			目的に合わせて、手洗いによる洗濯をすることができる。 (観察・発表・ワークシート)

6 本時の学習

(1) 目標

目的に応じて手洗いによる洗濯をすることができる。

(2) 準備・資料

着用したくつ下、軍手、体操服、洗剤、計量スプーン、はかり、たらい、洗濯ばさみ、エプロン、手ふき、学習計画表、ワークシート、掲示物

(3) 展開

学習内容	支援と評価
1 学習課題をつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">目的に合わせて洗たくをしよう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・体操服の食べこぼしや軍手・靴下のどろ汚れ(いろいろな洗い方やブラシなどの用具を使って) ・軍手のどろ汚れ (汚れてすぐに、一日たったもの) ・靴下や軍手のどろ汚れ (つけ置き洗い、汚れてすぐに) ・靴下や軍手のどろ汚れ (ぬるま湯、水) ・靴下や軍手の汚れ (適量な洗剤、洗剤を多く) 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で選択した物を、選択した洗い方で洗い、その結果や友達の選択した物の洗い方の結果と比べ、家庭での実践につなげていくことを確認する。 ・自分の課題に合った洗濯方法を選択し、実践することを確認する。 ・一日たった軍手のどろ汚れや軍手のつけ置き洗いは事前に準備しておく。
2 よごれの確認をする。	
3 洗濯の手順を確認する。	
4 洗濯をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・準備 ・洗う ・しぼる ・すすぐ ・しぼる 	<ul style="list-style-type: none"> ・どこがどんなふうに汚れているのかワークシートに書き込み、汚れのようすを確認して結果とのちがいに気付けるようにする。 ・汚れのようすを写真に撮り、発表の時に活用する。 ・グループで洗濯する人とワークシートに洗濯の過程を書き込む人など役割分担などについて確認するよう、助言する。 ・水の汚れや汚れの落ち具合を観察するとともに、友達の活動の様子も観察するよう、助言

- ・干す
- ・片付ける

5 ワークシートに気付いたことを書き、グループでまとめる。

6 それぞれのグループの結果について話し合う。
 ・水よりぬるま湯の方が早く汚れが落ちた。
 ・洗剤は多くても、汚れの落ち具合に変わりはない。すすぎに水をたくさん使ってしまう。
 ・もみ洗いやつまみ洗いはよく落ちる。
 ・汚れはつけておいたり、すぐに洗ったりするとよく落ちる。

7 本時の学習を振り返り、まとめをする。
 ・洗濯をした感想
 ・家庭生活に生かしたいこと

する。
 •洗濯機洗いと手洗いの比較ができるようにする。

評

A	・手洗いの仕方やよさが分かり、工夫して洗濯することができる。 (観察・ワークシート)
B	・手洗いの仕方やよさが分かり、洗濯することができる。(観察・ワークシート) ・それぞれのグループの結果を伝え合い、洗濯の必要性や手洗いのよさについて理解が深まるようとする。 ・洗濯をした感想や実践したいことをワークシートや学習計画表に書き、自分にできることを家庭生活に生かしていこうという気持ちを高める。